

スルニ至レリ、一面會社側ニ於テハ困窮者ニ對シ救
済方法ヲ講スベク一般従業員ニ申告ヲ為サシメ調
査ノ上救済スルコト、シ之ガ準備ヲ進メフ、アリテ
全ク常態ニ復シ、本爭議ハ自然消滅ノ状態ヲ見ル
ニ至レリ、唯外部勞働団体ハ高執拗ニ煽動宣傳ヲ
持續シフ、アリ。

二、兵庫支店、

工場側ハ其ノ後^モ依然高壓手段ヲ以テ解決セントシ

四月廿二日更ニ男工十名、女工十一名計二十一名(累計
四十二名)ヲ解雇シ、尚工場内中食堂ニ籠城ノ罷業
団ニ對シ再度退去ヲ要求シ或ハ担任者(後休職工)
ヲ総動員シテ職工ノ動靜ヲ監視セシムルト同時ニ
工場内表裏兩門ノ内部ニ更ニ堅固ナル門ヲ建築シ
或ハ工場周囲ノ牆壁ヲ高メ、見張所ヲ築設シテ内
外連絡ノ遮斷ヲ企ツル等益々強硬ノ態度ヲ執リソ
フアリ、而シテ工場側ノ退去要求ニ応セズ依然中
食堂ニ籠城セル罷業団ニ於テハ工場側ノ切崩ニ對